

「新たな公」について

1. 全国計画における「新たな公」の定義(抜粋)

多様な主体が協働し、従来の公の領域に加え、公共的価値を含む私の領域や、公と私との中間的な領域にその活動を拡げ、地域住民の生活を支え、地域活力を維持する機能を果たしていくという、いわば「新たな公」と呼ぶべき考え方で地域づくりに取り組んでいく。

これまでの公及び私の領域の関係を下に整理すれば、

ア. 従来の公の領域で行政が担ってきた活動分野を、民間主体が主体的に担うもの

(例:自治会や企業が行う道路清掃等の管理)

イ. 行政も民間主体も担ってこなかった分野であるが、時代の変化の中で新たな需要が生じてきたことにより、対応が必要となってきたもの

(例:地域住民が主体となって参画するコミュニティバスの運行や、公共交通のない地域でNPO法人等が行う自家用自動車を使用した運送サービス)

ウ. 従来の私の領域で民間主体が担う活動分野であるが、同時に、公共的価値を含むもの

(例:空き店舗を活用した中心市街地の活性化)

となる。